

徳島県観光振興基本計画(第4期・素案)に係るパブリックコメントの実施結果について

令和5年3月10日(金)から4月10日(月)まで、徳島県観光振興基本計画(第4期・素案)に係るパブリックコメントにより御意見を募集したところ6名の方から15件の御意見をいただきました。

いただいた御意見及び県の考え方は次のとおりです。

■全体(15件)

No.	ご意見・ご提言等	ご意見に対する県の考え方
1	<p>○徳島県が大阪及び神戸の奥座敷、保養地になる。</p> <p>○徳島県が兵庫県及び神戸市と連携して、観光庁から「神戸・淡路・徳島観光圏」の認定を受ける</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響もあり、近年、近隣地域内での観光「マイクロツーリズム」が注目されています。</p> <p>新計画期間においては、このような新たなニーズも踏まえた情報発信に取り組んで参ります。</p> <p>また、本県は四国ツーリズム創造機構、せとうち観光推進機構、関西観光本部の3つの広域連携DMOに参加しており、各DMOと連携し、域内外からの観光誘客を図って参ります。</p>
2	<p>○徳島県がJR四国との間で「徳島県・JR四国との観光振興に係る連携・協力の協定書」の締結を行う。</p>	<p>国内外の旅行者が訪れやすい、さらには県内を移動しやすい観光地を目指して、JR四国を含む様々な交通事業者と連携し、旅行者の方々が快適に楽しく移動できるよう取り組んで参ります。</p>
3	<p>1. 今年の初めに 目安箱を通じて徳島駅の観光案内看板がおかしい(解体・撤去された県等の公共施設が そのまま表示されている。郊外の観光地への行き方、交通手段、距離等の表示がなく観光客に不親切だ)と 投稿したが、帰ってきた回答は表示灯株式会社に伝えるであった。看板製作会社が無償で勝手に作成・設置・管理をするとは思えない。発注者がだれかは未確認だが、県は観光看板を発注した当事者に指導する義務はあるのではないかとこの姿勢・考えそのものを改善しないと オール徳島は実現しません。いくら頭で施策を考えても 無駄です。</p> <p>2・外国語表記の案内看板や案内書が少ない。大至急は正すべきです。</p>	<p>目安箱を通じてご意見いただいた内容については、監察評価課県庁ふれあい室から表示灯株式会社にお伝えしたと聞いております。</p> <p>外国語表記の看板等が少ないのご指摘については、「外国人旅行者の受入環境の整備」として、計画素案に盛り込んでおり、本県を訪れた旅行者が快適に旅行できるような環境整備に取り組んで参ります。</p>
4	<p>○徳島県が徳島ヴォルティス、徳島インディゴソックス、徳島ガンパロズの地元のプロクラブチームのスポーツ振興によるスポーツ・ツーリズムの推進並びに地方再生と地方創生を図る。</p> <p>○徳島県が大手旅行会社と一体となって、大塚国際美術館での世界の名画鑑賞によるアート・ツーリズムの推進を行う。</p> <p>○徳島県・徳島市・大手旅行会社と一体となって「とくしま*マチ*アソビ」によるアニメ・ツーリズムの推進を行う。</p> <p>○徳島県・徳島市・大手旅行会社と一体となって「とくしま*マルシェ」によるフード・グルメ・ツーリズムの推進を行う。</p> <p>○徳島県が関西広域連合と連携して「関西広域連合・人形浄瑠璃街道」の推進による広域的な交流人口の拡大を行う。⇒大阪文楽、能勢人形浄瑠璃、淡路人形浄瑠璃、京都和知人形浄瑠璃など</p>	<p>旅行者のニーズが、これまでの「見る観光」から、その地域でしか体験することのできない高付加価値な体験を求める「質」を重視する観光へと変化してきています。</p> <p>新計画期間においては、いただいたご意見を参考に、徳島ならではの様々な観光資源を、高付加価値な旅を求める旅行者に訴求するコンテンツとなるようさらなる充実を図るとともに、新たな観光資源の発掘、ブラッシュアップに取り組んで参ります。</p>
5	<p>○徳島県が美(日本の原風景の祖谷のちいおり)・食(徳島ラーメン、鳴ちゆるうどん、祖谷そば、御所たらいうどん、阿波半田そうめん)・遊(勝浦みかん狩り、学ぶどう狩り・土成いちご狩り)・泊(おもてなしとお接待)で観光振興を図る。</p>	

6	目標値は高くすぎない方がいい。	いただいたご意見を踏まえ、観光産業に携わる各主体と連携の上、施策を着実に実施し、本県の観光消費額及び宿泊者数の増加につながるよう取り組んで参ります。
7	徳島には素晴らしい自然が多くあり、サーフィンなど世界に誇れ、世界中から多くの人々がやってくるポテンシャルがあるこういった観光コンテンツを効果的にPRしてほしい	旅行者のニーズが、これまでの「見る観光」から、その地域でしか体験することのできない高付加価値な体験を求める「質」を重視する観光へと変化してきています。新計画期間においては、いただいたご意見を参考に、徳島ならではの様々な観光資源を、高付加価値な旅を求める旅行者に訴求するコンテンツとなるようさらなる充実を図るとともに、新たな観光資源の発掘、ブラッシュアップに取り組んで参ります。
8	宿泊施設や観光施設をつくるのはお金がたくさんかかるので、いまあるコンテンツを充実させてほしい	魅力の高いホテル・旅館は宿泊の大きな動機付けとなることから、本県では宿泊施設の誘致を推進しているところです。 一方で、旅行者のニーズは多様化していることから、いただいたご意見も参考に、既存の徳島にしかないコンテンツのブラッシュアップに一層取り組んで参ります。
9	修学旅行の誘致を頑張してほしい。 コロナ前は多くの修学旅行が来ていたが、今はなくなってしまった。	新型コロナウイルス感染症の影響により、県をまたぐような教育旅行の受入数が大きく減少してしまったところですが、今後、「2025年大阪・関西万博」といったビッグイベントが開催されることから、この大きなチャンスに本県が教育旅行の訪問先へ選ばれるよう、誘致活動を一層強化して参ります。
10	ヴォルティスに頑張ってもらってアウェー客を呼び込んでほしい。	プロスポーツはこれまで本県に来たことがない多くアウェイ客の来県が見込まれることから、いただいたご意見も参考に、試合とあわせて本県観光を楽しんでいただけるよう、コンテンツの充実、情報発信等に取り組んで参ります。
11	今はSNSによるPRが誘客の成功の鍵を握っています。 とにかくSNSで発信をして少しでも目立つべき	本県では、これまでもSNSやWEBを活用したプロモーションに取り組んでいるところですが、近年の個人旅行者の増加やニーズの多様化も踏まえ、インフルエンサー等も活用し、一層SNSによる魅力の発信に取り組んで参ります。
12	目標が多すぎると何をしたらいいのかぶれてしまうのではないかと。 メインの目標を決めて取り組んだ方がいいと思います	計画素案においては、基本目標として、「延べ宿泊者数」、「延べ観光入込客数」、「年間観光消費額」の3つを設定するとともに、「参考目標」として16の目標を設定しています。 計画策定後は、3つの基本目標の達成を目指し、施策を進めて参ります。
13	徳島の観光資源はけっこう色々あると思うのですが、なかなか周知されていない気がします。 最近DMVなどテレビで見たり、雑誌で徳島を特集したものも見ますので、この勢いで色々PRしてほしいです。	本県には自然、文化、食など豊富な観光コンテンツがありますが、最近でもご意見にあるようなDMV、また、上勝町のサステナブルな取組など新たなコンテンツも誕生しています。 徳島ならではの魅力を多くの方々に届けられるよう、SNS等も活用し一層の情報発信に取り組んで参ります。
14	体験型観光は、子どもなどが特に喜ぶと思います。学校の授業などで取り入れたら、地元に対する愛着にも繋がるのではないかと思います。	「徳島ならではの」魅力を県内外に広く伝えるには、県民の皆様から自ら発信していただくことが非常に有効だと認識しております。 いただいた御意見につきましては、本県観光施策の参考にさせていただきます。
15	海外との交流も今後ますます盛んになると思うので、コロナ前にも外国の観光客がきていた観光地(祖谷のかずら橋など)に観光客が戻るよう、PRをお願いします。	新型コロナウイルス感染症の影響で大きく落ち込んだインバウンド誘客については、一日も早い回復を目指すとともに、「大阪・関西万博」等のビッグイベントを契機に、より多くの観光客の方々に来県いただけるよう、一層の情報発信に取り組んで参ります。